

平成26年度 事業報告書

I 法人事業の概要

平成26年度は消費税が8パーセントに増税されたものの、診療報酬改定において危惧された療養病床の経過措置の廃止が見送られ、各事業の利用者数も全体として順調に推移し、比較的安定した事業経営を行うことができた。

以下にその成果を報告するとともに、各施設の個別事業についても概要を取りまとめて報告する。

1 職員の人権意識の醸成

虐待防止委員会を定期開催して、人権意識の高揚を図るとともに、昨年度に引き続き、県障害福祉課障害児支援班課長補佐 佐々木裕仁氏を講師に招いて「虐待防止について」と題した人権研修を、都合2回、全職員を対象として実施した。参加率は69.2パーセントであった。

また、県主催の人権研修等への参加や虐待につながる「不適切な処遇行為」自己チェック表を用いた職員各自のサービスの見直しを行うとともに、平成26年12月には、各施設から職員を募って、大分県社会福祉事業団のぞみ園及び糸口学園を見学し、身体拘束など共通の課題について意見交換を行った。

2 利用者に対するサービスの質の向上

第三者評価機関による評価をめじろ園が受審した。ボランティアの受け入れの活性化等、課題が明らかになったが、全体としては、昨年度の別府整肢園に続き良好との評価を得て、職員の一体感の醸成と自信に繋がった。

利用者満足度調査は、83.3パーセントの方に「良い」「大変良い」との回答をいただき、前回の調査を2.7ポイント上回った。

3 人材の確保及び職員の資質の向上

医師の確保については、平成27年2月から別府センターに小児科医を採用し、利用者のための診療体制の充実を図ることができた。また、平成27年度からは、大分センターの所長に精神科医が就任することも内定している。

職員の採用については、インターネットの活用や学校訪問を行う等の取り組みを行い、看護師、介護福祉士等の確保は順調に行うことができたものの、年度末に退職が明らかとなつた作業療法士、臨床心理士については採用が間に合わなかつた。

職員の資質向上については、各部署が年度当初に立てた研修計画を遂行するとともに、昨年度から設けた、学会発表のための特別予算枠を利用して、職員19名が学会発表を行

うとともに、自己啓発支援制度も4名の職員が利用して介護福祉士等の資格を取得した。

4 安全対策の徹底

医療等安全管理委員会の指示のもと、安全推進専門部会においてインシデントの原因分析、再発防止策の検討に取り組んだ。残念ながら、窒息事故が1件発生し、その検証を組織的に行い、改善すべき課題を含めて保護者に報告した。

安全な環境整備のために4S運動を推進するとともに、衛生委員会においてもラウンドを開催し、職場環境の改善に取り組んだ。また、介護職を中心として腰痛予防等のための福祉機器の導入について検討を始めた。

職員倫理綱領の策定については、次年度へ持ち越した。

5 効率的で透明な法人運営と地域貢献の推進

財務諸表については、全国社会福祉法人経営者協議会及び法人ホームページ上で公開するとともに、センターだよりに掲載して積極的な公開に取り組んだ。

外部監査及び地域貢献については、平成27年2月12日に提出された社会保障審議会福祉部会報告書「社会福祉法人制度改革について」を踏まえ研究を行っているが、社会福祉法等の改正法案が提出される27年度を待って、他法人の動向を注視しながらさらに検討を深めていくことが必要である。

6 中期計画の確実な進行管理

当年度を期初とする5年間の「別府発達医療センター第二期中期計画」の中で、まず、昨年度に引き続いて、めじろ園が第三者評価を受審した。また、制度発足後10数年を迎えた人事考課制度について、目標管理の導入、納得性の向上、考課の効率化を目的とした見直しを行い、平成27年度から改正した制度で人事考課を行うこととした。

新会計基準への移行も予定どおり平成27年度予算から実施した。

7 主たる事業の概要

「外来診療部門」では、新患数は別府センターが870人で対前年度210人増、大分療育センターが282人で対前年度76人減、障がい者歯科は、別府センターが109人で対前年度60人減、大分センターが430人で対前年度346人減と、別府センターの新患数は増加しているが、大分センターでは医科、歯科ともに減少している。

一方で、再来を含めた1日平均の患者数は、別府センターが55.8人で対前年度3人減、大分センターが73.2人で対前年度10.9人減と、前年度より減少しており、新患の受け入れが難しい状況は続いている。また、障がい者歯科の1日平均の患者数は、別府センターが14人で対前年度0.4人増、大分センターが17.6人で対前年度0.1

人減となった。

また、薬剤については、院内調剤数が13, 772件で対前年度128件の増加となつた。

「リハビリテーション課」の年間実施単位数は、別府センターが71, 081単位で対前年度1, 155単位の増、大分センターが55, 092単位で対前年度1, 968単位減となった。

別府センターでは、さらなる集中リハの充実に取り組んだ。特に手術後の利用者のリハが長期間実施できないような状況を改善するために、連休の際には休日のリハも行った。また、リハの実施頻度については、外来利用者や集中リハ等の利用者と入所利用者の間でのバランスに配慮し、一人ひとりの利用者に充実したリハが提供できるよう取り組んだ。

S Tが中心となって、安全な食事の提供のために、医師、看護師等と嚥下造影装置を用いた嚥下機能を評価し、食事の姿勢や食物形態の検討等につなげる取り組みを始めた。

大分センターでは、昨年度に引き続き、外来の利用者向けに保育士との合同療育を重症児向けに7回、感覚やコミュニケーションに課題のある児向けに2回実施した。また、こじか園の職員と協力してこじか園利用者に向けた合同療育も実施した。

新たなりハの利用者に向けて各療法を紹介のためのパンフレットを作成し、新年度から活用することにした。

リハ課合同の症例検討会を開き、職員及び各職種間で活発な意見交換を行った。

「別府整肢園」では、感染症対策の強化と療育サービスの充実を目標として事業を実施した。感染症については、インフルエンザの罹患はあったものの、感染の拡大は食い止めた。療育サービスについては、ファミリールームを活用して満足感の高い支援を提供した。また、福祉施設の役割として要保護児童3名の受け入れも行った。

入所利用の新規契約は169人で、昨年同様、安定していた。1日当たりの平均は41.1人であったが昨年に比べ月当たりの利用者数が安定しながらも、昨年度同様の利用水準は維持できた。

手術件数は81例で、前年に比べ17例の増があった。また、本年度も引き続き、佐賀整肢学園の顧問の藤井医師の指導を受けるとともに、他の医療機関の医師との協力体制も強化した。ボトックス治療は対前年度18例増の250例であった。

歯科については全身麻酔下での歯科処置を対前年度1例減の28例実施し、診療件数は前年に比べ37件減の1, 314件となった。

「めじろ園」では、後半に3床の空きができるが、利用者の健康管理に取り組んだ結果、他の医療機関に緊急入院をされる方も少なく、1日平均入所者数は57人で、ほぼ昨年並みとなった。パンフレットを改正して、関係先へ配布するとともに、りんくの利用者等を

対象とする施設見学会も実施し、めじろ園の役割についての広報活動に取り組んだ。

また、今年度も短期入所に力を入れ、延614名と大幅に増加し、昨年度の倍近くの利用者を受け入れた。

初めて第三者評価を受審し、良好な評価を受けた。また、自己評価等の受審準備の機会を活かして、サービスの見直しや職種間の連携強化に取り組んだ。

生活支援の充実の一環として、本格的なコーヒーや紅茶を提供する「めじろんカフェ」を週1回開店するとともに、年に1回行っていた園外レクリエーションを2回に増やして、利用者のQOL向上に取り組んだ。

医師、看護師を中心とするスタッフの連携のもと、事前に研修等を行った上で、初めて人工呼吸器を装着した重症度の高い利用者のケアに取り組んだ。

安全で確実な与薬準備や服薬介助ができるよう、与薬カートを導入した。

人材育成については、研修等への参加を行うとともに、研究にも積極的に取り組み、看護師1名、介護福祉士3名が研究成果を発表するなど、専門性の向上を図った。

「ひばり園」では、一日平均利用者数は18.3人で、対前年度に比べ0.2人（年間、延4,681名）の増となった。また、保育所等訪問支援は延63回、施設支援等は83回実施するなど、昨年に比べ大幅に増加した。

早期の子育て支援のために年少児については親子通園を原則としながらも、年長・年中児については単独通園等に取り組んだ。また、児童発達支援会議では、毎回、全員が発言して議論を深め、情報の共有と質の高い支援に取り組んだ。

今年度は、昨年度実施した大分県発達障がい児療育専門研修事業で研修生を受け入れた県内5施設に対してフォローアップを行うため、平成26年度発達障がい支援圏域拠点巡回指導事業を受託して取り組んだ。

さらに、大分県児童発達支援センター連絡協議会事務局として、連絡協議会だよりの発行や、年2回の職員研修会を実施するなど、県下の13施設の連携強化、児童発達支援の専門性の向上に向けた取り組みを開始した。

ひばり園独自の事業としても、児童発達支援員養成研修を企画・実施し、30名が参加した。また、接遇や保護者対応マニュアル（ひばり園作成）に基づく研修にも取り組んだ。

「ほっと」では、生活介護事業の職員配置を一部見直しサービスの充実を図った。利用者は1日平均19.4人で、例年同様、定員に近い利用があった。放課後等デイサービスの利用者は1日平均6.1人で、前年度に比べ若干減少した。これは、放課後等デイサービス事業所の増加が影響している。また、ベテランの職員の退職により対応に苦慮していた行動援護についても徐々に対応できる環境が整ってきた。

浴室を改修し、特殊浴槽を設置することで、安全・快適な入浴を提供できるようになった。その結果、職員のマンパワーの有効活用が可能となり、入浴サービスの充実が図られ

た。

支援学校と連携を図り、生活介護事業への現場実習等の生徒の受け入れを行った結果、新たな利用者の獲得につながるなど、支援学校の生徒保護者へ事業の周知を図ることができた。

サービスの向上や安全な支援のために、職員が各種研修に積極的に参加するとともに、外部研修の成果を共有するための伝達講習にも取り組んだ。

大分療育センター「総務課」はこじか園、りんく等と連携して利用者の確保に努めた。

安全なサービスの提供のために、安全推進専門部会のラウンドを中心に、施設内の安全点検に取り組み、不具合が見つかった場合は、修理等、迅速に対応した。

大分療育クリニック「医療課」では、常勤医師（精神科及び整形外科）2名体制で事業を行い、従来の診療に加え、肢体不自由児や運動発達遅滞児の診療を充実させた。また、脳血管疾患等リハビリテーション料の算定を年間通して実施し、経営基盤の安定に取り組んだ。

臨床心理士は、心理検査や心理療法に取り組むとともに、自費によるカウンセリングを開始した。また、専用スペースを確保しにくい中、個別的なSSTを実施して、ニーズへの対応に取り組んだ。

職種ごとの研修への参加を進めるとともに、利用者の課題解決のために開くケース会議等を活用して、職種間の連携強化を図った。福祉事業への職員の派遣を通じて地域社会との連携を推進した。

緊急時の体制の見直しと外来患者のリハビリ中の事故を想定したシミュレーションを実施した。医療物品等の保守・点検についても年度計画に沿って実行した。

大分療育クリニック「(障がい者)歯科」では、良質な歯科医療の提供のために治療内容の説明と予約時間の厳守、接遇マナーの向上に取り組んだ。その結果、利用者満足度調査でも高い評価を得た。

他機関が作成した誤嚥、誤飲を防止する器具に改良を加え、安全な診療の提供に役立てるなど研修会等で得た知見の活用に積極的に取り組んだ。

障がい者歯科に関わる連携システムの構築について、県、歯科医師会、病院歯科等と協議を重ねている。県下全体をシステムティックに動かすことは難しいため、当面地域を絞って連携強化を図るべく佐伯市歯科医師会と連絡を密にしている。

なお、連携システムを構築するためには、コーディネーターが不可欠である。そのためには、県の協力を得るべく働きかけを行っている。

大分療育センター「こじか園」では、今年度も重症児と発達障がい児の安全な受け入れ

のために、登園日を分ける等の工夫を継続した。1日平均利用者は11.2人となり、前年度に比べ1.4人（年間、延124人）の減となった。

サービスの向上については、保護者への保育内容の説明の徹底を図り、信頼関係を深めることができ、子育ての不安等を話していただけたようになつた。また、OTと合同で感覚統合療法の遊具の使用体験を行い、保護者にお子さんが感じている感覚を、より深く理解していただいた。

実習生を10名受け入れて指導に取り組むとともに、指導体験をとおして保育士のスキルアップにも取り組んだ。

JR九州の職員の皆さんに、シミュレーターでの電車体験や制服着用体験、クラフト作成等、合計3回ボランティアとしてご協力をいただきとともに、その活動を他の企業が見学に来るなど地域との連携が強化された。

大分療育センター「りんく」では、転居等による利用者の減少に加え、多機能型事業所の位置づけの変更から、利用者数及び利用単価の両方が低下し、厳しい運営が続いたが、職員の努力と連携により、1日平均利用者は10.4人で、前年度に比べ0.3人の増となつた。

生活介護事業については、新年度から、新生支援学校の卒業生2名と由布支援学校の卒業生1名の利用が決定した。放課後等デイサービスについては、秋に小学生4名と主として長期休暇時の利用について契約を結ぶ等、努力が利用増に結びつきはじめている。

保護者へのアンケートを行い、希望を活動内容に反映させる取り組みを行い、イベントについては保護者にも参加していただいてバーベキューパーティーを行つて親睦を深める機会とした。

新たにボランティア2名を受け入れたが、そのうちの書道家の方には、合計4回アート書道教室を開いていただき、利用者の活動の幅を広げることができた。

緊急時の対応シミュレーションをりんく内で2回、全体で1回実施し、安全強化に取り組んだ。虐待防止についても職員が参加した研修の内部伝達講習会を実施して、情報の共有に取り組んだ。

事務局「地域療育連携室」は、県や市から受託している障がい児（者）地域療育等支援事業や市町村支援体制サポート事業、別府市の委託相談支援事業等に加え、別府市、大分市の指定相談支援事業について、積極的な取り組みを行つた。訪問療育相談支援は268件の利用があつた。施設支援一般指導事業では福祉施設職員への療育技術の指導を行うとともに、中央ブロックの保育園等へ継続した支援を行つた。サービス利用支援等の件数は、別府の「ぱれっと」で387件、大分の「たっち」では292件で、放課後等デイサービス事業所、児童発達支援事業所など多様な施設の担当者会議に参加して利用支援を行つた。連携を強化することで、他事業所から利用支援についての紹介が4件寄せられた。

相談支援においては、利用者が住む地域に出かけて利用者を取り巻く環境についても把握しながら、より具体的で現実的な支援を行なうよう努めた。

巡回相談等からは、別府センター外来に49人、大分センター外来に4人が繋がるとともに、他療育機関へ34人の紹介を行い、利用者のニーズに合わせた最適な支援環境の調整に取り組んだ。

また、大分市発達障がい児巡回専門員派遣事業では、専門的な立場から臨床心理士が保育所等への支援を行って、高い評価を得たことから、次年度の事業継続も決定した。

昨年に引き続いて、大分市教育委員会と別府市教育委員会の協力を得て就学相談会を別府、大分の各センターで実施し、利用者にとって、参加しやすい就学相談会となるよう配慮した。

事務局「総務課」では、新会計基準への移行を予定通りに進め、平成27年度予算を策定した。

太陽光発電設備、ほっと浴室改裝工事等の入札に取り組み適正な価格での事業実施につなげるとともに、助成金制度を活用し必要な車両の確保を図った。

また、中期計画を踏まえた中長期資金計画の策定に取り組み、次年度早々の計画策定に向けて取り組みを継続した。

新年度に向けた組織・定数の見直しや職員採用、人事異動、当初予算等の作成については、適時、ヒアリング等を実施して、各部署の意見を反映させ、適切な人事配置や予算の効果的な配分ができるよう努めた。

事務局「企画室」は、第三者評価の受審、人事考課制度の見直し等、中期計画の進捗管理に取り組んだ。各種委員会活動の活性化に取り組み、特に、課題である虐待防止については、各種研修や施設見学等を企画した。

開園記念式典の在り方については、職員・利用者双方で祝える式典とするため、秋祭りに先立って実施する形式に見直しを行った。

研修については、法律に定められた必須研修については100%の参加率を目指して取り組んだ。また、キャリア別の研修では、接遇講師や社会保険労務士などの専門の方を講師に招いたり、利用者の保護者に話を伺ったりするなど、より実践的で効果的な研修の企画に取り組んだ。

II 法人運営の状況

1 理事会の開催

(1) 平成26年度第1回理事会

開催日 平成26年5月21日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

- 審議事項
- ・平成25年度事業報告について
 - ・平成25年度決算報告について
(監事の監査報告)
 - ・定款等の一部改正（案）について
 - ・諸規程の一部改正（案）について
 - ・太陽光発電設備設置工事について
 - ・評議員の選任について

(2) 平成26年度第2回理事会

開催日 平成26年9月19日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

- 審議事項
- ・平成26年度第1回補正予算（案）について
 - ・諸規程の一部改正（案）について
 - ・基本財産の取得について
 - ・地域支援センターほっと浴室改修工事について

(3) 平成26年度第3回理事会

開催日 平成27年3月13日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

- 審議事項
- ・平成26年度第2回補正予算書（案）について
 - ・平成27年度事業計画（案）について
 - ・平成27年度当初予算書（案）について
 - ・定款の一部改正（案）について
 - ・諸規程の一部改正（案）等について
 - ・評議員の選任について
 - ・施設長等の任命について

2 評議員会の開催

(1) 平成26年度第1回評議員会

開催日 平成26年5月21日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

- 審議事項
- ・平成25年度事業報告について
 - ・平成25年度決算報告について
(監事の監査報告)
 - ・定款等の一部改正（案）について
 - ・諸規程の一部改正（案）について

(2) 平成26年度第2回評議員会

開催日 平成26年9月19日
開催場所 別府発達医療センター 会議室
審議事項
・平成26年度第1回補正予算（案）について
・諸規程の一部改正（案）について
・基本財産の取得について

(3) 平成26年度第3回評議員会

開催日 平成27年3月13日
開催場所 別府発達医療センター 会議室
審議事項
・平成26年度第2回補正予算書（案）について
・平成27年度事業計画（案）について
・平成27年度当初予算書（案）について
・定款の一部改正（案）について
・諸規程の一部改正（案）等について

3 監事の監査

(1) 決算監査

年月日 平成26年5月7日
場所 別府発達医療センター 会議室
内容 平成25年度業務の執行状況及び財産の状況

(2) 中間監査

年月日 平成26年11月14日
場所 別府発達医療センター 会議室
内容 平成26年度上半期の業務の執行状況及び財産の状況

4 評議員の選任等

(1) 異動に伴い、次のとおり委嘱した。

氏名	委嘱年月日	備考
藤内宣幸	平成26年5月21日	新任
饭田孝喜	平成27年3月13日	新任

(2) 利用者の退園に伴い、次の方が退任された。

氏名	退任年月日	備考
小笠文則	平成26年9月25日	利用者の家族代表 (任期: 平成27年9月25日)

5 サービスの質の向上

(1) 別府センター（サービス向上委員会）

平成26年度は、利用者満足度調査を実施した。今回の調査は、先の別府整肢園等改築工事の全面竣工後に行う最初の調査となった。

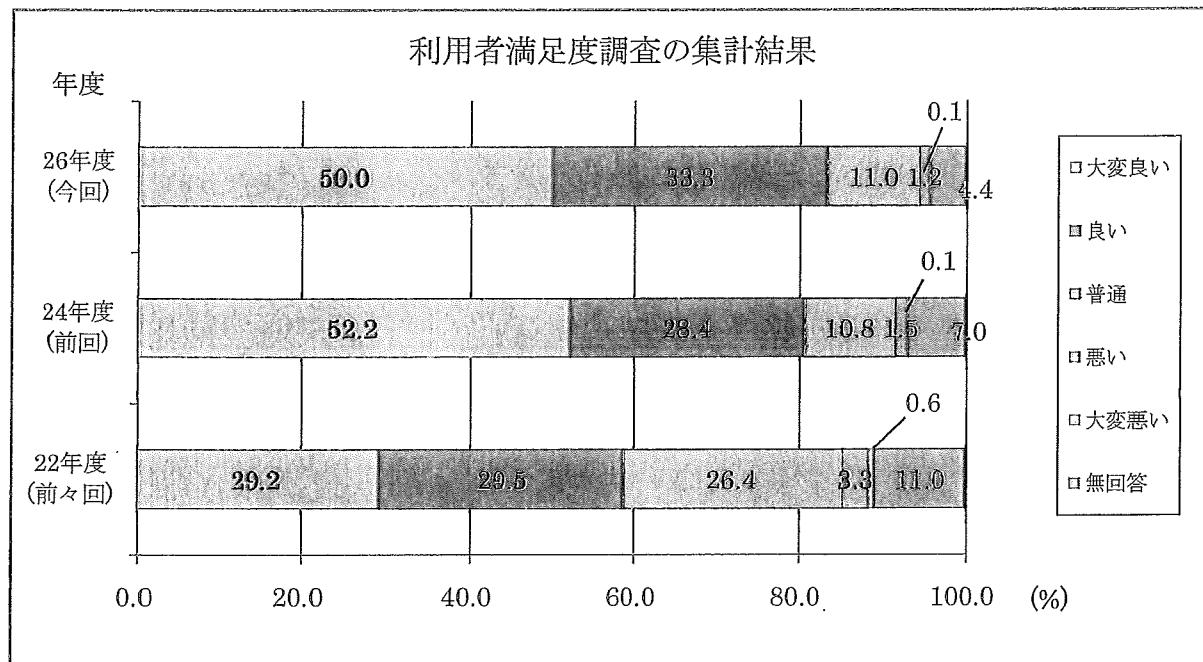
調査に先立ち、設問内容等の検討を行い、前回の調査との比較ができるよう、基本的な設問事項は大きく変更せず、「スタッフの対応や印象」に関する設問を、「笑顔」、「親切さ」、「挨拶」、「言葉遣い」、「服装」、「電話応対」の6項目に、「日常生活援助への対応」に関する設問を、「排泄」、「入浴」、「食事」、「歯磨き」、「その他（整肢園のみ）」に細分化し、項目毎の満足度に違いがあるかを検証することとした。

また、外来診療部門では、「スタッフの接遇・対応」に関する設問を、職種毎に設定していたものを外来スタッフ（リハスタッフは別途設定）に統一し、さらに、前回までは外来診察とリハビリとに分けて配布していたアンケート用紙を一枚に集約した。

その他の設問事項についても、「プライバシーへの配慮」に関する設問に「人権への配慮」を追加したり、入園（病棟）部門については、「担当職員の対応」に関する設問を「受け持ちスタッフの名前はご存じですか？会話はしやすいですか？」へと改めるなど、設問の趣旨をより具体化し、分かりやすくするよう字句等を見直した。

アンケートの実施方法については、前回調査と同様に、来所時にアンケート用紙を配布、または郵送し、回収箱等を設置するなどして回収した。

調査期間	平成26年11月1日～11月30日 1か月間
調査方法	アンケート方式（調査用紙の配布・郵送）
配布枚数	581枚
回収枚数	409枚（回収率 70.4%）



回収率は、全体で70.4%と前回調査時よりも2.2ポイント減少しているが、約7割の利用者から回答を得ることができた。

全体の調査結果は、5段階評価のうち、「大変良い（満足）」は50.0%と前回よりも2.2ポイント減少したが、「良い（ほぼ満足）」は33.3%と前回よりも4.9ポイント増加し、これらを合わせると83.3%となり、前回よりも2.7ポイント増加した。

また、「普通」は11.0%と前回よりも0.2ポイントと僅かに増加し、「やや悪い（不満）」と「たいへん悪い（大いに不満）」を合わせた割合は1.3%と、こちらは前回よりも0.3ポイント減少した。また、無回答は4.4%と、前回よりも2.6ポイント減少した。

前回、22年度と24年度の調査結果を比較した時ほどの大きな変動は見られないが、前回、今回と、「大変良い（満足）」と「良い（ほぼ満足）」の合計が80%を超えており、全体的に利用者満足度は、僅かに改善傾向を維持しつつ、安定して推移していることが窺える。

部署・部門別に「大変良い（満足）」と「良い（ほぼ満足）」を合わせた割合をみると、地域療育の相談支援が97.3%、外来保育が91.3%、地域支援センターほっとの放課後等デイサービスみつけが96.3%、同じくほっとのヘルパー業務が90.5%と、前回と同様に、いずれも90%以上の高い満足度を維持している。

アンケートより寄せられた意見は、各部署で改善を検討して対応するか、コメントにより返答するなどした。

他に、年2回の各部署のラウンドでは、各部署の重点項目を基にチェックしてきたが、どの部署も、目標達成していた。また、エントランスに利用者の作品展示を行い、利用者が足を止めて作品を観るなどの姿が見受けられた。今後も引き続き行っていくこととしている。

平成26年度利用者満足度調査 集計結果 (単位:%)

部署・部門/内訳	配布数(枚)	回答数(枚)	回収率	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答
地域連携(相談)	10	4	40.0	30.6	66.7	2.8	0.0	0.0	0.0
地域連携(保育)	20	19	95.0	74.3	17.0	7.6	1.2	0.0	0.0
入園	別府整肢園	45	22	48.9	34.5	32.9	24.4	4.2	0.2
	めじろ園	52	38	73.1	32.6	30.7	22.0	2.4	0.0
	計	97	60	61.9	33.6	31.8	23.2	3.3	0.1
通園	ひばり園	52	31	59.6	54.8	22.1	13.2	2.5	0.7
	ほっと(生活介護)	47	36	76.6	38.1	36.3	19.0	0.6	0.2
	みつけ	17	9	52.9	71.9	24.4	3.0	0.0	0.7
	計	116	76	65.5	54.9	27.6	11.7	1.0	0.3
ヘルパー	38	16	42.1	60.7	29.8	9.1	0.4	0.0	0.0
外来診療	300	234	78.0	45.9	26.7	11.8	1.5	0.2	13.9
合計	581	409	70.4	50.0	33.3	11.0	1.2	0.1	4.4
				83.3			1.3		

(2) 大分センター

サービス向上委員会(大分)では利用者満足度調査を実施した。今年度はアンケート内容の見直し(質問項目数の削減し、自由記載の欄を増やした)を行った。調査の集計結果としては「良い」が88%で「普通」を加えると99.6%以上となり、総体的に満足していただいているという結果となった。

今回は自由記載の欄を多く設けたことで、様々な意見をいただくことができた。通園部門では給食の味付けや盛りつけといった食事面や、子どもの人数増加に伴う環境の安全面・衛生面の意見が出された。外来では概ねプラスの意見が出されたが、受付職員の不在やトイレの設備面について意見が出された。リハでは患者数増加に伴い、リハ室の安全面や環境面についての意見が出された。また、待合室のスペースといった環境面、リハビリの頻度、リハビリの内容についても昨年度同様意見が出された。歯科・りんくでは、スタッフの対応に満足していただいている意見が出された。意見に対しでは各部署で対応を考え、また意見を踏まえた上でサービス向上に向けて来年度の目標設定及び具体策を立てた。

今年度の調査は11月12日から12月17日の期間で実施し、集計結果は1月末から、また、アンケートに寄せられた要望についての回答は2月末から、3月末まで掲示板に掲示した。

来年度も引き続き利用者満足度調査を実施し、サービスの質の向上に努めていく。

利用者満足度調査 集計結果

(単位:%)

部署・部門/内訳		配付数(枚)	回答数(枚)	回収率(%)	評価			
					良い	普通	悪い	記入なし
通園 サービス	こじか園	34	29	85.0	88.8	11.2	0.0	0.0
	りんく	17	10	59.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	計	51	39	76.4	92.2	7.8	0.0	0.0
診療 サービス	外来	239	208	87.0	89.6	9.7	0.0	1.6
	歯科	50	49	98.0	98.8	1.2	0.0	0.0
	計	301	292	97.0	92.2	7.4	0.0	1.2
リハ 部門	計	207	205	99.0	82.7	15.0	0.5	1.8
合計		559	536	95.9	88.0	10.8	0.2	1.3

(3) 苦情解決委員会

苦情解決委員会は、例年どおり年3回定期的に開催し、利用者から寄せられた苦情・要望等の内容及び改善策等の報告を行った。

今年度から、ご意見箱や部署の苦情受付担当者を介さずに、利用者が直接苦情解決委員（第三者委員）に苦情・相談のできる相談日を新たに設け、年3回実施した。第三者委員3名が交代で担当し、相談に臨んだが、電話相談も含め、申出件数は0件であった。

今後も、相談日の設定や実施方法等を工夫し、より相談が受けやすい体制の整備を図る必要があると考える。

ご意見箱等に投函された苦情・要望の申出件数は、苦情が17件、要望が6件、合計23件と、昨年度（24件）とほぼ同数であった。

苦情の内容については、職員の接遇・サービスに関するものが13件、設備・環境に関するものが4件と、圧倒的に前者の割合が多かった。

職員の接遇・サービスに関するものでは、診察や検査、リハ時の待ち時間に関するもの、介助時、訪室時に利用者への声かけ、挨拶がないこと、窓口・電話等での説明や連絡の不備、不十分な医療的ケアに対する指摘等であった。

特に、申出者が入所利用中に職員に対し、依頼や訴えはしたもののかちんと聞いてもらえなかつた、届かなかつたことから、結果的に、後日文書として苦情申出のあつたケースもあり、利用者側から発信される不安や不満を、苦情として受け止める意識の欠如が問題としてあげられた。これらの利用者からの声を、業務改善の機会として前向きに受け止め、職員全員で日常の支援のあり方を振り返り、サービスの質の改善と向上に努めている。

設備・環境に関するものでは、病棟の浴室入り口のカーテンが閉められていなかつた、外来待合いホールに設置しているランチスペース、キッズスペースが汚れていた、エレベーター内の臭気が気になる、トイレ内に設置しているオムツ交換台の利用マナーが悪い等であった。

浴室入り口のカーテンについては、利用時に必ず閉めることを職員に周知徹底し、また利用者や職員が出入りする周囲にも新たにカーテンを増設するなどし、プライバシー配慮の徹底を図った。その他の要望に対しても、速やかに改善策を講じた。

一方、要望の内容としては、スタッフの人事異動やユニフォームに対するものや、皮膚科、眼科等の診療科を開設してほしい等の診療サービスの充実であった。早期実現は難しいが、今後、検討していく上での参考とさせていただくこととした。

また、今年度も、12月に大分県社会福祉協議会及び大分県福祉サービス運営適正化委員会が主催する福祉サービス苦情解決セミナーに、苦情解決委員2名と苦情受付担当者1名の計3名が参加し、2月に開催した第3回委員会で結果報告をしてもらい、クレーム対応の心構え、対処法等に関する情報の共有化を図った。

① 第1回苦情解決委員会

開催日 平成26年7月4日（金）

報告事項 苦情申出報告 2件 要望申出報告 4件

② 第2回苦情解決委員会

開催日 平成26年11月7日（金）

報告事項 苦情申出報告 9件 要望申出報告 1件

③ 第3回苦情解決委員会

開催日 平成27年2月6日（金）

報告事項 苦情申出報告 6件 要望申出報告 1件

研修参加報告（12／1 福祉サービス苦情解決セミナー）

協議事項 任期満了に伴う委員の選任について

6 安全管理の強化

過去の事件・事故を風化させないために、安全管理対策強化期間を継続し、利用者が安全に過ごせるよう職員全員でセンター全体の安全環境整備に取り組み、安全管理に対する意識を高めることを目的に今年度も全職員の参加を基本として、安全対策強化期間研修を実施した。

医療安全管理者としては、安全管理対策強化期間の研修内容の企画・実施、インシデント報告書の分析、事故事例の聞き取り調査及び報告書の作成、ビデオによる検証を行い、医薬品保管状態のラウンドを行った。

研修委員会と合同の特別研修として、平成27年3月27日に「医療安全管理について」の講義を行った。

『安全管理対策強化期間の取り組み』

(1) 実施期間

平成26年6月9日（月）～7月4日（金）（一部は期間外）

(2) 組織体制

- ・ センター長・・・総括責任者として期間中のすべての取り組みについて指揮命令し、報告を受け総括する。
- ・ 医療安全管理者・・・センター長の指示のもと、具体的取り組みについて、適宜指揮し、その結果をセンター長に報告する。
研修会の記録をし、業務の都合上参加できない職員に対して、所属長を通してDVDや資料等で伝達する。
- ・ 所属長・・・各所属における実施責任者として、取り組みを指示し実施する。
- ・ 安全推進専門部会・・・各所属での取り組みの円滑な実施のために、所属長を補佐し、協力する。
- ・ 研修委員会委員・・・医療安全管理者と協力して、一部の研修会を実施する。
- ・ 院内感染専門部会・・・安全管理マニュアルの見直しと期間中に感染に関する研修を実施する。

(3) 実施内容

月 日	時 間	研修方法	研修内容	講師及び指導者	場 所	参加人 数
5月31日	13:00～	実技講習	赤十字救急法	赤十字救急指導員	ほっと ホール	57名
6月9日	17:15～	訓示・講演	訓示	福永センター長	ほっと ホール	131名
6月23日	17:15～	DVD	医療安全について		会議室	84.0%
6月19日	17:15～	実技講習 討議	安全・安心な介助動作	介護課	訓練室	97名 65.4%

6月 27 日 8月 15 日	17:15～ DVD	グループ討議	KYT5S(4S)の取り組み	各部署代表	ほつとホール	102名 65.4%
7月4日 7月 25 日	17:15～ DVD	講演	防災「大震災への備え」 終わりの言葉	医療安全管理者 福永センター長	ほつとホール 会議室	155名 96.8%
7月 17 日 7月 31 日	17:15～ DVD	講演	障がい児・者虐待防止・ 権利擁護について	県福祉保健部障害福祉 課 課長補佐 佐々木裕二 氏	ひばり園	108名 69.2%

(4) 医薬品ラウンド

実施日：1月9日（金）

実施場所：めじろ園、整肢園、外来（耳鼻科・処置室を含む）、手術室、薬局

実施者：薬剤師（小島） 医療安全管理者（永井・牧）

(5) 業務マニュアルの見直し、確認

各部署で6月～12月に実施。

(6) 車椅子、補装具安全点検

各部署及びリハビリテーション課スタッフで、6月に整肢園、めじろ園にて実施。

7 職員研修の状況

(1) 一般研修

① 新任職員研修

対象者：平成26年度新採用及び採用後未受講職員

・前期　　日程及び内容：4月2日から4日　講義形式の研修会

受講者数 23人／25人中

・中期　　日程及び内容：7月1日から9月30日　各施設の現場体験実習

受講者数 18人／20人中

・後期　　日程及び内容：3月20日　グループ討議及び発表

受講者数 18人／20人中

② 中堅職員研修

対象者：25, 30, 35, 40, 45歳の職員

受講者数 12人／13人中

日程及び内容：10月15日・10月30日　講義及び施設見学

・講義：「お釈迦さんの教え」について

　　講師 瑞雲山龍興寺 住職 林 浩道 氏

・講義：保護者からの体験談発表

　　講師 センター利用者の母 岡原ゆかり 氏

・施設見学：博愛病院

③ 監督者・管理職研修

対象者：係長級の職員及び管理監督職

受講者数 39人／40人中

日程及び内容：10月24日・11月19日　講義

講義：「職場のワーク・ライフバランス～怒りの連鎖を断ち切ろう～」

　　講師 社会保険労務士 篠原事務所 代表 篠原 丈司 氏

(2) 特別研修

① 講 義：「障がい児・者の虐待防止・権利擁護について」

対象者：全職員　　参加者数 150人

日 程：7月17日・7月31日

講 師：大分県障害福祉課 課長補佐 佐々木 裕二 氏

② 講 義：「医療安全管理について」

対象者：全職員　　参加者数 61人

日 程：3月27日

講 師：別府整肢園 看護課 永井妙子 係長 (医療安全管理者)

8 補助事業の状況

(1) 設備整備

- ① 事 業 名 平成26年度医療提供体制施設整備事業費補助金
地球温暖化対策施設整備事業
- ② 工 事 名 別府整肢園太陽光発電設備設置工事
システム容量(最大出力) 36.72 kw
- ③ 事 業 費 総事業費 13,824,000円(消費税込)
(内訳) 補 助 金 額 4,333,000円
自己負担額 9,491,000円
- ④ 完了年月日 平成27年3月27日

(2) 車両整備

- ① 事 業 名 公益財団法人 オリックス宮内財団
福祉車両寄贈
- ② 車 種 日産キャラバンシェアキャブ
- ③ 事 業 費 総事業費 4,254,621円(消費税込)
- ④ 完了年月日 平成27年1月27日

Ⅲ 個別事業の実績

【別府センター】

1 診療部門

(1) 外来診療

年度	22	23	24	25	26	対前年比
診療日数(日)	271	271	271	270	272	2
新患(人)	438	551	738	660	870	210
再来(人)	15,158	15,382	14,400	15,225	14,312	△ 913
合計(人)	15,596	15,933	15,138	15,885	15,182	△ 703
1日平均(人)	57.5	58.8	55.9	58.8	55.8	△ 3.0

(2) 小児科(再掲)

年度	22	23	24	25	26	対前年比
新患(人)	147	85	64	82	114	32
再来(人)	1,979	1,401	1,237	1,313	1,333	20
合計(人)	2,126	1,486	1,301	1,395	1,447	52
1日平均(人)	7.8	5.5	4.8	5.2	5.3	0.1

(3) 耳鼻科(再掲)

年度	22	23	24	25	26	対前年比
診療日数(日)	49	48	47	45	46	1
新患(人)	14	11	46	34	36	2
再来(人)	282	230	305	272	246	△ 26
合計(人)	296	241	351	306	282	△ 24
1日平均(人)	6.0	5.0	7.5	6.8	6.1	△ 0.7

(4) 側弯検診(再掲)

年度	22	23	24	25	26	対前年比
新患(人)	19	32	177	113	189	76.0
再来(人)	120	125	173	207	237	30.0
合計(人)	139	157	350	320	426	106.0
1日平均(人)	11.6	13.1	18.4	16.8	15.8	△ 1.0

(5) 歯科

年度	22	23	24	25	26	対前年比
診療日数(日)	90	89	89	94	94	0
新患(人)	210	138	185	169	109	△ 60
再来(人)	736	829	809	1,108	1,205	97
合計(人)	946	967	994	1,277	1,314	37
1日平均(人)	10.5	10.9	11.2	13.6	14.0	0.4
鎮静法下治療延数	45	30	14	23	28	5

(6)手術等の件数

(単位:例)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
骨長調整術	1	4	1	0	12	12
骨切り術	3	7	2	9	2	△ 7
骨盤骨切り術		2	1	0	2	2
骨内異物除去術	8	5	9	9	12	3
腱延長術	3	5	5	5	4	△ 1
腱移行術		2	1	0	0	0
内反足術	4	3	4	1	1	0
股関節内転筋切離術	6	1	0	1	0	△ 1
股関節筋群解離術	2	8	3	5	0	△ 5
関節脱臼非観血的整復術	16	1	2	3	2	△ 1
観血的関節授動術	0	0	0	10	11	1
その他	36	22	22	21	35	14
合計	79	60	50	64	81	17
ボツリヌス毒素使用	118	219	248	232	250	18
全身麻酔下の歯科処置	34	32	24	29	28	△ 1

(7)リハビリテーション

年度	22	23	24	25	26	対前年度
延べ人数 (人)	31,099	30,801	30,157	34,031	34,675	644
理学療法 (単位)	20,548	20,510	19,635	26,285	37,811	11,526
作業療法 (単位)	23,915	25,964	25,246	26,960	24,138	△ 2,822
言語聴覚療法 (単位)	18,395	16,645	14,743	16,681	9,132	△ 7,549

(8)調剤数

(単位:件)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
入院	7,642	10,319	12,462	13,425	13,546	121
外来	1,163	430	210	219	226	7
合計	8,805	10,749	12,672	13,644	13,772	128

(9)検査件数(院内実施分)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
脳波検査	151	153	135	137	142	5
心電図	151	146	128	158	155	△ 3
ABR他	26	27	29	21	14	△ 7
血液検査	732	532	503	610	638	28
尿検査他	543	453	364	396	409	13
生化学	182	72	107	261	211	△ 50
血液ガス	65	34	98	110	74	△ 36
合計	1,850	1,417	1,364	1,693	1,643	△ 50

(10)X線撮影

年度	22	23	24	25	26	対前年度
単純撮影	1,416	1,340	1,519	2,027	2,192	165

2 入園部門

(1)別府整肢園 (定員60人)

①入所者数

単位:人

年度	22	23	24	25	26	対前年度
前年度から継続	36	42	36	39	41	2
入園	150	132	144	161	169	8
退園	152	138	142	158	162	4
延在籍人員	15,258	14,278	13,913	15,364	14,989	△ 375
一日平均在籍	41.8	39.1	38.1	42.1	41.1	△ 1.0

②就学状況

単位:人

年度	22	23	24	25	26	対前年度
小学部	22	15	19	23	19	△ 4
中学部	5	8	5	4	8	4
高等部	4	4	2	3	6	3
合計	31	27	26	30	33	3

③短期入所等(空床利用)

単位:人

年度	22	23	24	25	26	対前年度
延べ件数 (件)	104	92	73	91	94	3
延べ日数 (日)	268	287	240	338	321	△ 17
日中一時支援 (日)	33	40	14	26	34	8

(2)めじろ園 (定員60人)

①入所者数

単位:人

年度	22	23	24	25	26	対前年度
前年度から継続	59	59	60	57	59	2
入園	1	10	6	10	6	△ 4
退園	1	9	7	13	8	△ 5
延在籍人員	21,391	21,305	21,712	20,736	20,932	196
一日平均在籍	58.6	58.4	59.5	57	57.3	0.3

②就学状況

単位:人

年度	22	23	24	25	26	対前年度
小学部			1	1	2	1
中学部	1	1	0	0	0	0
高等部	4	1	4	5	4	△ 1
合計	5	2	5	6	6	0

③短期入所等(併設4床)

単位:人

年度	22	23	24	25	26	対前年度
延べ日数 (日)	383	581	309	342	614	272
日中一時支援 (日)	80	48	41	28	30	2

3 通園部門

ひばり園 (定員30人) (単位:人)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
継続児数	25	27	37	43	35	△ 8
入園児数	21	26	31	22	19	△ 3
退園児数	25	14	25	31	21	△ 10
年間利用者数	46	53	68	65	54	△ 11
延利用者数	5,211	4,940	4,562	4,659	4,681	22
一日平均	21.0	20.0	18.0	18.1	18.3	0.2

4 地域支援センターほっと

年度	22	23	24	25	26	対前年度	単位
重心通園B型 *1	登録者数	25	25	生活介護へ			人
	延利用者数	1,124	1,096				人
生活介護	登録者数	41	43	51	48	47	△ 1 人
	延利用者数	4,279	4,366	5,110	4,705	4,730	25 人
	一日平均	18.0	18.0	20.5	19.4	19.4	0 人
放課後等デイ サービス *2	登録者数	26	28	18	26	20	△ 6 人
	延利用者数	1,341	1,262	2,028	1,839	1,763	△ 76 人
	一日平均	4.7	4.5	7.0	6.5	6.1	△ 0.4 人
居宅介護	登録者数	41	29	23	19	18	△ 1 人
	延利用時間数	2,760	2,971	2,645	1,730	1,474	△ 256 時間
行動援護	登録者数	17	13	14	19	22	3 人
	延利用時間数	4,784	4,508	4,560	4,976	4,538	△ 438 時間
日中一時支援 (ショートステイ)	登録者数	23	25	14	9	9	0 人
	延利用者数	288	237	246	270	276	6 人
個別移動支援	登録者数	21	21	15	16	17	1 人
	延利用時間数	1,079.0	1,500.0	1,434.5	1,234.5	1,249.5	15 時間
送迎移動支援	登録者数	1	1	2	2	1	△ 1 人
	延利用者数	85	85	106	35	22	△ 13 人
ほっとサービス	登録者数	15	13	8	5	5	0 人
	延利用者数	1,182	1,185	845	1,202	1,241	39 人

*1 重心通園B型…平成24年度より生活介護へ統合

*2 放課後等デイサービス…平成24年度より日中一時支援事業(タイムケア)から移行

5 地域療育関連主要事業

(単位:件)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
訪問療育等	巡回相談	308	289	257	252	268 16
	訪問援助	167	199	140	111	105 △ 6
	計	475	488	397	363	373 10
外来療育等	保育	1,622	1,345	1,650	1,369	1,273 △ 96
	SW等	48	66	113	210	273 63
	その他	35	74	30	47	43 △ 4
	計	1,705	1,485	1,793	1,626	1,589 △ 37
施設支援一般指導		110	95	96	107	100 △ 7
施設支援専門指導		3	4	4	2	2 0
別府市委託相談事業		2,021	2,072	2,257	1,769	2,341 572
計画相談	障害児計画相談支援 ①サービス利用支援 ②継続利用支援			4	67	143 76
				2	47	98 51
				2	20	45 25
	障害者計画相談 ①サービス利用支援 ②継続利用支援			11	153	244 91
				8	107	163 56
				3	46	81 35

【大分センター】

6 外来診療部門

(1)リハビリテーション科

年度	22	23	24	25	26	対前年比
診 療 日 数 (日)	249	248	247	249	249	0.0
新 患 (人)	188	96	88	65	105	40.0
再 来 (人)	18,227	16,351	15,248	15,681	15,329	△ 352.0
合 計 (人)	18,415	16,447	15,336	15,746	15,434	△ 312.0
1 日 平 均 (人)	74.0	66.3	62.1	68.3	62.0	△ 6.3

(2)精神科

年度	22	23	24	25	26	対前年比
診 療 日 数 (日)	235	230	233	248	236	△ 12.0
新 患 (人)	201	143	149	279	149	△ 130.0
再 来 (人)	2,694	2,494	2,207	2,598	2,026	△ 572.0
合 計 (人)	2,895	2,637	2,356	2,877	2,175	△ 702.0
1 日 平 均 (人)	11.5	10.8	10.1	11.6	9.2	△ 2.4

(3)小児科

年度	22	23	24	25	26	対前年比
診 療 日 数 (日)	21	22	18	18	55	37
新 患 (人)	2	2	3	14	28	14
再 来 (人)	97	110	55	62	84	22
合 計 (人)	99	112	58	76	112	36
1 日 平 均 (人)	4.7	5.1	3.2	4.2	2.0	△ 2.2

(4)歯科

年度	22	23	24	25	26	対前年比
診 療 日 数 (日)	190	191	193	188	191	3
新 患 (人)	861	724	706	776	430	△ 346
再 来 (人)	2,626	2,740	2,276	2,556	2,929	373
合 計 (人)	3,487	3,464	2,982	3,332	3,359	27
1 日 平 均 (人)	18.4	18.1	15.5	17.7	17.6	△ 0.1
鎮 静 法 下 治 療 延 数	312	222	206	233	265	32

(5)リハビリテーション

年度	22	23	24	25	26	対前年比
理学療法 (単位)	19,936	17,351	16,665	16,233	16,563	330
作業療法 (単位)	23,514	19,773	21,037	23,855	23,486	△ 369
言語聴覚療法 (単位)	16,709	17,068	14,282	16,972	15,043	△ 1,929

7 通園部門

(1)こじか園 (定員20人)

(単位:人)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
継続児数	22	26	23	39	18	△ 21
入園児数	11	8	30	18	21	3
退園児数	7	11	2	21	23	2
登録者数	26	23	51	36	50	14
延利用者数	2,631	2,923	2,457	2,915	2,791	△ 124
一日平均	10.7	12.2	9.9	11.8	11.2	△ 0.6

*平成24年度からは福祉型児童発達支援センターへ移行

(2)りんく (定員18人)

(単位:人)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
重心通園A型	登録者数	22	22	生活介護、放課後等デイサービス スへ移行		
	延利用者数	2,236	2,417			
	一日平均	9.0	9.7			
生活介護	登録者数			19	19	18 △ 1
	延利用者数			2,459	2,472	1,990 △ 482
	一日平均			9.9	9.9	8.0 △ 2
放課後デイサービス	登録者数			5	4	6 2
	延利用者数			112	203	165 △ 38
	一日平均			1.3	2.1	2.4 0.3

8 地域療育関連主要事業

(単位:件)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
大分市分	巡回相談	162	157	170	167	115 △ 52
	訪問療育等	訪問援助	693	742	862	774 772 △ 2
		計	855	899	1,032	941 887 △ 54
外來療育等	保育	2,391	2,177	1,997	1,639	1,421 △ 218
	SW等	90	107	127	127	66 △ 61
	その他	57	447	417	559	575 16
		計	2,538	2,731	2,541	2,325 2,062 △ 263
	施設支援一般指導	54	36	34	38	28 △ 10
佐伯市	メディカルサポート	14	15	2	3	0 △ 3
発達障害児巡回専門員派遣事業					14	0 △ 14
計画相談	障害児計画相談支援			12	163	291 128
	①サービス利用支援			3	111	166 55
	②継続利用支援			9	52	125 73
	障害者計画相談			0	2	1 △ 1
	①サービス利用支援			0	2	1 △ 1
	②継続利用支援			0	0	0 0

9 ソーシャルスキルトレーニング

(単位:人)

年度	22	23	24	25	26	対前年度
延利用者数	前期	366	374	248	176	0 △ 176
	後期	384	240	240	128	0 △ 128
合計	750	614	488	304	0	△ 304

IV 職員の状況(平成26年4月1日)

(単位:人)

(1) 別府センター

職種		総務課 企画室	医療課	リハビリテーション課	地域療育連携室	別府整肢園	めじろ園	ひばり園	地域支援センター	合計	25年度 (H25.4.1)
正規	センター長(園長)					1			1	2	2
	副園長					1				1	1
	事務職員	10								10	9
	栄養士		1							1	1
	医師		3							3	3
	薬剤師		1							1	1
	放射線技師		1							1	1
	検査技師		1							1	1
	理学療法士			9						9	9
	作業療法士			9						9	9
	言語聴覚士			7						7	7
	支援員					4	3		4	11	8
	児童指導員					1	1	1		3	3
	保育士							4		4	4
	看護師					25	19			44	43
	准看護師						1			1	1
	介護福祉士					1	12		2	15	13
	介護員									0	1
	相談員					4				4	3
小計		10	7	25	4	33	36	5	7	127	120
嘱託	事務局長・園長	1						1		2	2
	室長代理	1								1	1
	次長									0	0
	当直業務	1								1	1
	看護員						1			1	1
	薬剤師		1							1	1
	看護師						1			1	1
	支援員									0	0
准	介護福祉士						1			1	0
	事務職員	2								2	2
	支援員					1	2		5	8	9
	保育士							2		2	2
	看護師								1	1	1
	准看護師					1	2			3	4
	介護福祉士						5			5	6
短時間	介護員					1	8			9	4
	小計	5	1	0	0	3	20	3	6	38	35
	事務職員	1								1	2
	当直業務	1								1	0
	運転士								2	2	2
	看護師								1	1	0
	准看護師								1	1	1
	歯科衛生士		1							1	0
	支援員								7	7	11
	保育士						1			1	1
委託	介護員					4	5			9	9
	ホームヘルパー								11	11	12
	看護員								1	1	1
	小計	2	1	0	0	4	5	1	23	36	39
	合計	17	9	25	4	40	61	9	36	201	194

非常勤	医師		9					1		10	9
	臨床心理士		1							1	0
	小計	0	10	0	0	0	0	1	0	11	9
委託	清掃洗濯	5								5	5
	給食業務	10								10	10
	介護業務						2			2	0
	事務業務	1								1	0
	医事業務	0								0	1
	小計	16	0	0	0	0	2	0	0	18	16

総計	33	19	25	4	40	63	10	36	230	219
----	----	----	----	---	----	----	----	----	-----	-----

(2) 大分センター

(単位:人)

職 種	総務課	地域療育連携室	大分療育クリニック		こじか園	りんく	合 計	25年度 (H25.4.1)
			医療課	リハビリテーション課				
正規	園長						0	0
	次長						0	0
	事務職員	1					1	1
	医 師		2				2	2
	歯科医師		1				1	1
	歯科衛生士		2				2	2
	臨床心理士		2				2	2
	理学療法士			5			5	5
	作業療法士			7			7	7
	言語聴覚士			4			4	5
	看護師		1				1	1
	児童指導員						0	0
	支援員					3	3	3
	保育士				5		5	5
	相談員		1				1	1
小計		1	1	8	16	5	34	35
嘱託	所長						0	0
	次長	1					1	1
	運転士						0	0
	保育士						0	0
	臨床心理士			1			1	1
准	事務員	1		1			2	2
	児童指導員				1		1	1
	歯科衛生士			1			1	3
	保育士						0	1
	看護師			1		2	3	2
	相談員		2				2	1
小計		2	2	4	0	1	11	12
短時間	事務職員	1					1	1
	支援員					2	2	2
	保育士						0	0
小計		1	0	0	0	0	2	3
合計		4	3	12	16	6	7	48
								50

非常勤	医 師			7			7	7
	音楽療法士				1		1	1
	小計	0	0	7	0	1	0	8
委託	栄養士	1					1	1
	調理員	2					2	2
	小計	3	0	0	0	0	0	3
総 計		7	3	19	16	7	7	61

(3) 法人合計

(単位:人)

雇用種別	別府センター	大分センター	合 計	25年度 (H25.4.1)
正規職員	127	34	161	155
嘱託職員	8	2	10	9
准職員	30	9	39	38
短時間職員	36	3	39	42
小計	201	48	249	244
非常勤職員	11	8	19	17
業務委託職	18	3	21	19
合 計	230	59	289	280